

今年12月に合併から10年という節目を迎えるイーグルスミコーポレーション。現在、「事業構造の改革、人材の育成、財務体質の強化」(住吉徹社長)に同時進行で取り組んでいる。国内で事業の付加価値を進める一方で、海外では昨年末から今年春にかけて香港と中国に現地法人を設立し、ネットワークを拡充した。「国内マーケットが縮小するなか、海外ネットワークの拡充を進める」とし、国内外で事業基盤の構築を急ぐ。

2014年の12月期決算は、取引先の定修や原油価格の下落による買い控えなどが影響し、減収減益となった。市場環境の変化から有機化学品を主力とする事業体制から、事業の多角化を推進している段階で、「現在が底とみている。今後、新規案件など立ち上がりが増しみな状況」。

国内では付加価値の高い特殊な塗料・インキ原料、顔料、電子材料など

合併10周年、人材育成も

の輸入販売に力を入れており「海外サプライヤーの開拓も含めて、海外商材に力を入れる」。また新規分野としてヘルスケア関連をターゲットとし、薬剤師も採用した。医薬中間体など市場開拓を進めていく。

海外展開では昨年12月に香港に現地法人を立ち上げたのに続き、今年に入り中国・廈門に現地企業と合併会社を設立。既存の韓国、上海現法と合わせ、アジア展開に厚みを持たせた。今後は中国ビジネスを中心に「東南アジアでも販路を築いていく方針」。

10周年の節目を迎えるにあたり今年3億円に増資するなど、財務体質を強化した。さらなるグローバル化に向けて人材育成にも力を入れており「若い会社ながら業界で存在感を發揮できるような風土をつくっていきたい」(住吉社長)。